



株式会社 **ア-レスティ**

(証券コード 5852)

第104期 中間株主通信

2024年4月1日 ▶ 2024年9月30日

ありたい姿

軽量化で地球の未来に貢献する

Ahrestyで良かった！を実現する

2040年ビジョン

期待を超える
2040

技術探究を続け、唯一を生み出す

株主の皆様へ



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り
当社グループの2024年度上期の業績と今後
今後とも、皆様のご支援をどうぞよろしくお願い

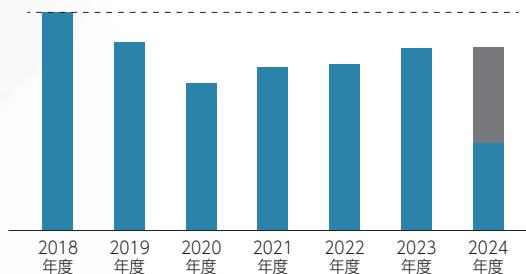
▶ 上期の業績

自動車産業を取り巻く環境は地域毎に大きく異なる様相を呈してきました。日本国内は、主要な自動車メーカーのトラブルによる生産見合わせや東南アジア向け輸出の不振が影響し、2024年度上期の国内自動車生産台数は前年同期比10%ほど減少しています。アジア地域は、中国における日系自動車メーカーの販売不振が続く一方で、インドでは自動車市場の成長とともに当社の主要顧客との取引も増加しており、この傾向はしばらく続くものと捉えています。北米地域は、BEV(電気自動車)からICE(内燃機関)やHEV・PHEV(ハイブリッド車・プラグインハイブリッド車)への揺り戻しがありつつも主要顧客の販売は堅調に推移しています。

グローバル売上重量

2018年度を100とした場合の売上重量推移

■ 実績 ■ 予測



厚く御礼申し上げます。
の展望についてご報告いたします。
いたします。

収益面においては、引き続き損益分岐点を意識したコスト構造改革を進めています。日本では自動車市場の将来見通しを見据えた人員の適正化を実施し、今後その効果が表れてきます。中国では昨年の減損会計処理による減価償却費負担の軽減に加え、さらなる人員の適正化を進めて収益の黒字を回復しております。取引が増加している地域では、同一製品をグローバルで生産しているビジネスモデルの強みを生かし、各拠点生産能力を有効活用する最適なグローバル生産体制構築を推進しています。米国工場では、取引が増加する一方で、人件費などの製造コストの上昇に加え、人材の流動性が高いことによって生産性が悪化し、収益に大きく影を落としています。このような状況を是正すべく全社を挙げて現場管理を強

化し、早期に生産性が改善するよう尽力しています。これらに加えて、エネルギー費や賃金の上昇などを適正に価格に反映すべくお客様との交渉も引き続き推進してまいります。

▶ 経営計画の取り組み

2224中期経営計画の柱の一つとして、「製品開発リードタイムの短縮」に取り組んでおり、受注から量産までの個々のプロセスのDX化と業務効率化を進め、リードタイム半減を目指しています。自動車メーカー各社で加速する新車開発のスピードへの対応だけでなく、既存製品においてもお客様の困りごとへの迅速な対応が可能となり事業機会の拡大につながっています。また、開発に関わるコスト削減や資産の休眠期間の最小化にもつながっています。

コスト構造改革におけるものづくりの取り組みにおいては、「時間当たり付加価値」に着目し、ロボットやからくりを活用した生産性向上、改善を進めています。



▶ 電動化の動向と当社の対応

当社は各市場の電動化シェアに即した受注戦略を展開しています。今後の自動車市場は、BEV販売はアーリーアダプターの需要が一巡し踊り場を迎え、足元はHEV・PHEVの台数が増えていくと予想しています。内燃機関と電動部品の両方が搭載されているHEV・PHEVは、一台当たりのアルミダイカスト使用量が多いため需要は増加、中期的な事業の成長が見込まれます。日本国内は引き続きHEV・PHEVが中心の市場であり、市場規模は横ばいの中で当社の魅力アップと収益基盤の強化を進めています。一方、世界第三位の自動車市場に成長したインドは、他地域と比べ電動車の比率は低い状況ですが、今後も電動車を中心に市場が成長するものと予想しています。2024年度下期より、国内工場にてHEVに搭載される複数の新規製品の量産を開始。12月末には電動車向け部品生産体制強化のためにインド第二工場が竣工、2025年より製造ラインも

稼働し新規製品の量産を開始するなどそれぞれ収益に貢献する予定です。また、米国自動車市場のニアショアリング先として注目度が高まるメキシコにおいては、成長ドライバー地域として売上・収益の拡大が見込める一方で米国の新政権による保護貿易への影響を注視しつつ、経営資源の投入を判断してまいります。

ステークホルダーの皆様におかれましては、ご心配とご迷惑をおかけしておりますが、今後も企業価値の向上に努めてまいりますので引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2024年12月

代表取締役社長
最高経営責任者 **高橋 新一**





アーレスティとアーレスティテクノサービスは11月14日より3日間、一般社団法人日本ダイカスト協会主催「2024 日本ダイカスト会議・展示会」に出展。「軽量化で地球の未来に貢献する」をテーマに、加速する自動車電動化に応える電動化部品、株式会社ジーテクトと共創して造り上げたマルチマテリアル車体のリアアンダーボディ、アルミダイカストの熱処理プロセスでCO₂排出量を1/10に削減できるレーザー熱処理技術、スポット溶接機でアルミダイカストと鋼板プレス部品を接合できる技術（SWAD）などを展示しました。

当日の主な展示内容はホームページでも紹介しております。



▶軽量化と電動化の未来に向かって

アーレスティインディア 工場増築

アーレスティのインド生産拠点であるアーレスティインディアは電動車向け部品生産体制強化のために第二工場を増築（2024年末竣工予定）、ならびに新規生産設備を増設し、2025年に新規生産ラインの稼働を開始します。

BEV、HEV等の電動車向け部品の新規受注増加に対応して生産体制を強化し、拡大を続けるインド自動車市場とともに今後より一層の成長を目指します。



NI工法とモバフロアの生産ライン移設完了・量産納入開始



当社独自開発の特殊鋳造法 NI工法の生産ライン及び自社製品モバフロアの加工工程生産ラインを東松山工場からアーレスティ栃木へ移設し、各々2024年6月及び4月より量産納入を開始しました。国内生産の効率を高め収益向上を目指します。

※東松山工場跡地については、2024年12月末に売却先に明け渡し予定（2022年6月28日公表済み）

Corporate Information

■ 会社概要 (2024年3月31日現在)

商号 株式会社 アーレスティ
設立 1943年11月2日
資本金 6,964百万円
従業員数 987名 (連結5,590名)

■ 主な事業内容

ダイカスト事業 アルミニウム合金を主材料とするダイカスト製品、
金型の製造・販売
ダイカスト製品は、自動車部品、汎用エンジン部品、
産業用機械部品等

アルミニウム事業 アルミニウムの合金地金の製造・販売
完成品事業 建築用床材料等の製造・販売

■ 株式の状況 (2024年9月30日現在)

発行可能株式総数 60,000,000株
発行済株式の総数 25,546,717株 (うち自己株式745,447株)
株主数 11,084名

■ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 Tel. 0120-232-711 (平日9:00-17:00) 郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.ahresty.co.jp (ただし、電子公告によることができない事 故、その他のやむを得ない事由が生じたとき には、日本経済新聞に公告いたします。)

公式ホームページ・統合報告書・X (旧Twitter) のご案内

公式ホームページ・統合報告書・X (旧Twitter) では、株主の皆様へ当社の最新情報をお届けしております。下記URLより併せてご覧ください。

【ホームページ】



<https://www.ahresty.co.jp/>



【統合報告書(アーレスティレポート)】



<https://www.ahresty.co.jp/ir/irreport/irreport04>



【X (旧Twitter)】



https://x.com/ahresty_pr



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。